

プログラミング演習 (Lisp) (2)

生成AIを用いる場合には基本的にgoogleアカウントの登録を前提として説明するが、必須ではない。これについては授業中に説明する。

[成績評価の方法・観点]

各課題についてのレポートにより評価する。平常点も加味する場合がある。
単位取得のための達成度: レポート課題のうち、基本的な課題について7割前後の得点が得られていれば単位取得が可能である。
応用的な課題の成績が良ければさらに高評価となる。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

(参考書)

ケント・ディヴィグ著, 村上雅章訳 『プログラミング言語Scheme』 (ピアソン・エデュケーションジャパン) ISBN:4-89471-226-1

(関連URL)

<https://www.stdio.h.kyoto-u.ac.jp/jugyo1/scheme/>

<http://www.stdio.h.kyoto-u.ac.jp/jugyo1/scheme/>(上のURLが利用できない場合こちらを指定してください。)

[授業外学修（予習・復習）等]

課題内容を授業中にこなせなかった場合、基本的な予習復習以外に授業外学習が必要となる。

[その他（オフィスアワー等）]

設備の関係上、人数制限を設ける場合がある。原則対面授業であるが、必要に応じオンライン授業を併用する。

履修者はBYODの自分のノートPCを利用する。ノートPCの準備が必要である。

ソフトウェアについては、VDIにより利用できるメディアセンターの環境に演習に必要なソフトウェアがインストールされている。それを利用するか、あるいはBYODのPCにインストールして利用する。それぞれについては授業で説明する。

関連する授業科目:全学共通科目 プログラミング演習 (Haskell) など。

[主要授業科目（学部・学科名）]